

## 他事業所のグループホーム訪問見学を終えて

グループホーム管理者 天川春子

「ケアホームはなえみ」は18年、「ケアホームはなあかり」は13年となり、今まで他のグループホームの見学もしたことがなく、自分がかかわっているグループホームが、今、どういう状態なのかも見えていなかったような気がします。

そこで、来年度に向け、グループホームの支援体制を見直すため、他事業所の現状、体制、支援方法等を、まずは知る事から始めることにし、横須賀市内2ホームと横浜市内2ホームを、見学させていただき、お話を伺ってきました。

それぞれに、長所短所はありますが、参考になることはたくさんあり、勉強になりました。

そして、ゆうのグループホームの良さも再認識することができました。良いところは残しつつ、今後、長く存続できる体制を作っていくなくてはなりません。メンバーさんにとっての「家」が、心地良いものであるための条件を考慮して、模索していきたいと思えます。と同時に、諸事情で変わったとしても、スタッフの皆様には、今年度法人内研修で学んだ「美しい支援」を常に念頭において、メンバーさんに接していただきたいと思っています。ますますのチーム力の向上を目指して頑張ります。



## コロナで再発見!! ~コロナだから気づいたこと、できたこと~ ヘルパーゆう

ヘルパーゆうサービス提供責任者 三橋雅美

新型コロナウイルスが流行して2年が経とうとしています。今までは移動支援や重度訪問介護(移動支援)を利用して、電車やバスに乗って出かけていた外出も、外出自粛の中大きく形が変わりました。感染防止のため公共交通機関は使わない、人混みを避けるため建物の中に入らない、「ないない」尽くしのお出かけになりましたが、そのような中でも「今できるお出かけの形」を考え、近隣へ外出しています。ご近所に出かける事しかできませんが、今まで見えなかったものが見えてきて、たくさんの発見があります。今まで目に留まらなかったザクロやアケ

ビヤドングリなど季節の草花、今まで知らなかったヤギやニワトリなどの動物との出会い、大きなカマキリと一緒に歩いたり、高台から見える最高の景色、大好きな働く車がたくさん見られる場所、初体験!大自然の中で絵を描いたり...決して遠くには行けませんが、メンバーさんはそれぞれ、心が安らんだりワクワクしたりする体験をたくさんすることができています。まだまだコロナ禍は続きそうですが、ヘルパーゆうはコロナに負けずメンバーさんの「お出かけしたい」という気持ちに寄り添い、出かけます。「さあ今日も出かけよう!!」



みなと舎では一緒に働くスタッフを募集しています。詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.minato-yuu.or.jp>

社会福祉法人 みなと舎

検索

求人問い合わせ:山本・森下 TEL:046-855-3911 FAX:046-855-3912



社会福祉法人「みなと舎」広報誌



# SSKU たまごむし

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会 編集責任者 松田直  
〒240-0104 神奈川県横須賀市芦名2-8-17  
tel.046-855-3911 fax.046-855-3912

後援会「新」会長より MESSAGE

Nice to Meet You

### お一人お一人の生活が一層充実するための支援を!!

社会福祉法人みなと舎・メンバー後援会会長 松田直



やったー!!  
おもしろい!!  
みなと舎に

この度、瀧川郁子さんの後を継いで、メンバーさんを支援する後援会の会長という大役を担うことになりました。

28年前の「こどものへや」開設から、社会福祉法人みなと舎の設立、そして今日の諸事業まで、様々な営みが繰り広げられてきました。その流れを貫いているのは、「障がいの重い人が、地域でその人らしく生活を繰り広げていくには、周りの人はどのようにかかわればよいのか、それを日々の取り組みの中で探っていく」という姿勢だったように思っています。

この2年ほどは、新型コロナウイルスの影響で、社会全体の人流を伴う活動が縮小化を

余儀なくされました。みなと舎でも、メンバーさんの外出や面会、ボランティアや近隣の人の交流などが影響を受けました。

遠距離にある施設とのリモートによる交流が試みられ、成果を上げることができましたが、やはり、直接的なかかわり合いが欠かせないと思います。



健康面には最大限の注意を払いながらも、メンバーさんお一人お一人が「やったー!!おもしろい!!」と実感できる体験を探り、広げていくことが大切です。メンバーさんが秘めているかも知れない力を発掘し、伸ばしていくこと、それをこの会がバックアップできればと考えております。微力ですが、どうかよろしく願い致します。

- 後援会新会長よりMESSAGE  
お一人お一人の生活が一層充実するための支援を!!
- ライフゆうNEWS  
ライフオン・キング week  
キッチンカーの皆様ありがとう

- ゆうNEWS  
バナナ収穫祭
- ゆう&ライフゆうNEWS  
オリンピックトーチがきた~!

- ケアホームNEWS  
他事業所のグループホーム訪問見学を終えて
- ヘルパーゆうNEWS  
コロナで再発見!!  
~コロナだから気づいたこと、できたこと~

# ライフオン・キングweek

ライフゆう支援スタッフ 渡邊亜子

ライフゆう

今年もこの季節がやってきました！2021年のライフオン・キングweekは展示会です。3名の新しいメンバーさんも仲間入りしました。今年もTシャツも作りました。黒地にゴールドのライオンプリント、たてがみはメンバーさんの手形でデザインされています。出来上がりまで皆ワクワクして待っていました。衣装は一着一着、沢山の思い出が詰まっています。準備中は思い出話に花が咲き、笑顔と涙で盛り上がりました。玄関に展示された衣装を見て、ご家族は「懐かしいね！」と、公演の日の思い出を優しい笑顔で話して下さいました。

ヘアメイクは新しいメンバーさんがザーズ、ブンバ、シンパになりきりカメラを向けられると表情は役そのもの！「かっこいい！」の声にとっても嬉しそうにポーズを決めていました。2021年のライフオン・キングweekも笑顔と感動がいっぱいでした。沢山の感謝を込めて「ありがとうございました」



## バナナ収穫祭

ゆう支援課長 前田智美

バナナが「ゆう」にやってきて、早数年…。今年も、2房の見事なバナナが生まれました！収穫時は、みどり色だったバナナが鮮やかな「きいろ」に色づき食べ頃に…。今回は、みんなの大好きな「チョコバナナ」でいただきました。メンバーさんやスタッフが「バナナ」の甘い香りと味を楽しめた一日でした。



ゆう

バナナ当てクイズもしたよ！



バナナウーマン登場！



HAPPY



# オリンピックトーチがきた～！

ライフゆう

ゆう

ライフゆう支援スタッフ 高岡汰希

ゆう支援課長 前田智美

10月19日ライフゆうにオリンピックトーチが届きました。そして「第1回ちょこリンピック」の開会が宣言されました。ちょっと活動の時間に3階、4階各部屋対抗のトーナメント形式、種目は「ポッチャ」で競い合います。スタッフのサポートでメンバーさん達がそれぞれ優勝を目指し、白熱した試合を見せてくれました。激戦を勝ち抜き10月29日ついに決勝戦！！勝ち進んだのはハーブ、つゆくさでした。奇しくも3階、4階の女性部屋対決となった決勝戦！勝利の女神が微笑んだのは「つゆくさ」となりました。優勝チームにはトロフィーが授与され、副賞としてジュースの詰め合わせが贈られました。惜しくも負けてしまったハーブにはメダルが贈られました。こうして盛り上がったちょこリンピックも閉幕。後日優勝チーム、準優勝チームから健闘を称え、各チームへジュースが振舞われ皆で楽しみました。次回4年後？に、また競い合しましょう。

コロナ禍での東京オリンピックは、世界中の沢山の人が力を合わせ、感動の中閉幕しました。今回、実際に聖火リレーに参加された方のご厚意により、オリンピックトーチをお借りすることができました。メンバーさんやスタッフも緊張しながらオリンピックトーチに触れる貴重な体験をすることが出来ました。

トーチを、ゆうからライフゆうへ！



## キッチンカーの皆様ありがとう

ライフゆう看護スタッフ 石原公重

「大変な医療の現場に、自分たちのキッチンカーで作る食材で応援と元気を届けられないだろうか」と「炊き出し隊」がライフゆうにもやってきました。一般社団法人キッチンカー協会より、ベビーカー、焼きそば、たこ焼き、横須賀のり弁当、ホットドッグ、海軍カレーなどの色々なお弁当が届き、目移りしてしまうくらいでした。皆、思い思いに頂きました。まさか、私達のところにまでこのようなサプライズプログラムがやってくるとは思っていませんでした。驚きと感激で、スタッフ一同ハイテンションで喜びました。「あ～医療従事者で良かったな～」と思った人もいたとか…。いいないとか…。

勿論、メンバーさんと喜びを分かち合い、美味しさは何倍にも膨らみました。キッチンカー協会の皆さま、本当に素敵なプレゼントをありがとうございました。

delicious

